

## 要注意 健康食品シリーズ - ホスピタルダイエット

「ホスピタルダイエット」という言葉を耳にしたことはありますか？この製品(写真1)は、ダイエット目的の処方薬として、多くはインターネットを通じてタイなどから個人輸入されているものです。また、観光を兼ねて現地の病院で直接処方してもらい、ホスピタルダイエットツアーも企画されています。インターネットでは言葉のとおり、病院で処方される薬を飲むダイエット法のため、「安全で安心」というイメージで宣伝しているサイトもあります。しかし、本当に安全、安心なのでしょうか。最近、これらの製品の摂取によると疑われる健康被害が発生しています。「ホスピタルダイエット」からは、国内では未承認の医薬品成分や向精神薬が含有さ



写真1 「ホスピタルダイエット」の包装

れていることがあり、これらの製品に関する健康被害の事例が、複数の都道府県から公表されています。神奈川県下でも平成17年に、「ホスピタルダイエット」の服用による死亡事例があります。

当所でも11月に市内の医療機関からの依頼で、「ホスピタルダイエット」6種類の検査をした結果、全種類から医薬品成分が検出されました。これを受けて医療安全課が記者発表を行い、NHKニュースや新聞(記事1)で報道されました。「ホスピタルダイエット」の写真2と検出された医薬品成分及び服用時の一般的な症状を次ページの表に示しました。今回の事例については、平成14年に厚労省の定めた「健康食品・無承認無許可医薬品健康被害防止対応要領」に従って、医療安全課が対応しました。



記事1 平成19年11月22日付 神奈川新聞

(その他、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、東京新聞にも掲載されました。)

記者発表資料:

<http://www.city.yokohama.jp/ne/news/press/200711/images/php4cic1u.pdf>

表 「ホスピタルダイエット」6種類の写真と検査結果等

No	写真 2	検出成分	作用	服用後の症状
1		フロセミド	利尿作用、降圧作用	頻尿、多尿、めまい、頭痛 等
2		甲状腺末	甲状腺ホルモン作用	口渇、体温上昇、月経不順 等
3		甲状腺末	甲状腺ホルモン作用	口渇、体温上昇、月経不順 等
4		フルオキセチン 【国内未承認(国外では向精神薬として承認)】	抗うつ作用	睡眠障害、倦怠感、頭痛、めまい 等
5		ピサコジル	大腸のぜん動運動促進作用など	下痢、軟便、腹痛 等
6		シブトラミン 【国内未承認】	中枢性食欲抑制作用	食欲不振、血圧上昇、口渇 等

今回検査した製品の多くは、医師の処方箋が無ければ購入できない医薬品成分を含有していました。また今回の事例だけではなく、ホスピタルダイエットにはフェノバルビタールやジアゼパム等の向精神薬が含まれているものも多く見られます。向精神薬の購入については、インターネット等で注文する個人輸入であっても麻薬及び向精神薬取締法で禁じられていますので、このような製品を入手しないでください。服用により体調に異常が現れた場合には、直ちに服用を中止して医療機関へ受診するとともに、最寄りの福祉保健センターにお申し出ください。

ダイエットは、肥満由来の生活習慣病予防のためには必要なことと思います。しかし、肥満でもないのに、体重を減らすだけのダイエットについては、もう一度考え直してみましよう。くれぐれも「ホスピタルダイエット」のような健康食品で痩せようとする無謀なダイエットはやめましよう。

## リンク

厚生労働省ホームページ

\*ホスピタルダイエット関連: <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/jirei/030902-1.html>

\*その他のダイエット用健康食品で医薬品成分が検出され、過去に横浜市が発表したもの(以下)

【医薬品成分が検出された無承認無許可医薬品について】

- ・ 医薬品成分(甲状腺末)が検出されたいわゆる健康食品 <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/other/040423-1.html>
- ・ 医薬品成分(エフェドリン等)が検出されたいわゆるダイエット用食品 <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/other/030319-2.html>
- ・ 医薬品成分(センナ葉等)が検出されたいわゆる健康食品 <http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/diet/other/030319-1.html>

【 薬事担当 】